

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3570201008		
法人名	医療法人博愛会		
事業所名	グループホーム和らぎ・歓び		
所在地	山口県宇部市大字妻崎789ノ1に467		
自己評価作成日	平成24年6月25日	評価結果市町受理日	平成24年12月20日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク		
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内		
訪問調査日	平成24年7月25日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

和風の馴染み空間で、内部も畳や自然木を多用した心地よい空間になっており、その中で入居の皆さまがそれぞれのペースで自分らしい生活を送られています。食事は毎食手作りで季節感を盛り込んだメニューを取り入れ、健康にも配慮したものを提供しています。食事作りは入居の皆さまにもできることは参加していただき、皆で楽しくおいしく、「食」に関わる時間を大切にしています。又、家事などもひとり一人のできること、できないことを見極め、お互いに協力しながら掃除、洗濯等を行っています。さりげない優しさでお互いが助け合うという理念の下で入居の皆さま、ご家族、地域の方々、職員が協力し合い、入居の皆さまが安心して過ごしていただける、グループホーム作りに取り組んでいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の理念の一つである「さりげない優しさ」を日常業務の中で実践できるよう、職員全員で日々接遇トレーニングを実施しておられ、利用者のその人らしさが発揮できるよう努めておられます。食事は三食とも事業所で調理され、その日の食材を見て、どんな美味しいものが出来るか話し合い、利用者と職員と一緒に調理の準備から後片付けまでを行い、一緒に食卓を囲んで楽しい食事ができるよう努めておられます。法人のバックアップ体制も整備され、年間を通しての行事への参加や各種委員会の研修等への参加、災害時における安全対策への取り組みなど、利用者や家族、職員の安心感にもつながっております。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、生き活きと働けている	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域の中でその人らしく暮らしていただけるように入居の皆様、地域の方々、職員がさりげなく助け合うという理念を作り上げており毎日CSTトレーニングも行っています。	地域密着型サービスの意義をふまえた理念を玄関に掲示し、職員全員で毎日唱和して、共有している。利用者の満足度の向上を図るため、毎朝の接遇トレーニングや電話での応対方法の訓練を実施するなど、理念の実践に取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	日常的な交流はないが併設施設の夏祭り等年間行事に参加して交流を図っています。	法人主催の夏祭りや運動会、敬老会、文化祭などで地域の人と交流する他、地域のボランティアによる活け花教室の開催や幼稚園児とのふれあい、中学生の職場体験、大学生の実習を受け入れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議で地域との情報交換はされているが、支援に向けての取り組みまでには至っておりません。		
4	(3)	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	ミーティングで評価の再検討を行い改善に取り組んでいます。	評価の意義を説明し、自己評価表を職員全員に配布し、ミーティングで話し合っている。項目についての課題を検討し、日々のケアの振り返りや見直しなど改善に向けて取り組んでいる。	
5	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	グループホームでの生活や状況報告行い、ご意見や要望があれば、会議に挙げサービスの向上に活かしています。	2ヶ月に1回開催し、利用者の近況、行事、ヒヤリハットや事故等の報告をし、外部評価への取組状況等について説明し、意見交換している。防災訓練について、運営推進会議メンバーの参加や自治会との共同訓練の計画などの意見が出され、サービス向上へ活かすよう努めている。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	介護相談員が毎月来られ、情報交換いサービスの向上に取り組んでいます。	市担当課と申請書類等の提出時や電話で、事業所の課題や利用者に関することを相談し、情報を得るなど、協力関係を築いている。	
7	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	定期的に研修を行い正しい理解を深める様努めています。職員間でも声に出し、互いに確認し合っています。	法人の身体拘束委員会や研修で学習し、職員は理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。スピーチロックについては職員同士で注意し合うなど、日頃から気をつけている。日中、玄関の施錠はしていない。	
8		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修、ミーティングを行い学ぶ機会を作っている。職員間でも意見交換を行い、防止に努めています。		
9		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在実践されていないが制度について学べる機会を持ち、対象者に対して活用できるよう知識を深めたいと考えています。		
10		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の際や退居の際、ご本人やご家族にもしっかり話し合う場をつくり十分に説明し理解や納得を得ております。		
11	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情窓口、苦情用ポストを設置している。月に一度介護相談員がこられ利用者の意見が表せる機会を設けています。	運営推進会議時や介護相談員を通しての意見の他、家族の訪問時には、職員側から声をかけ、利用者の現状報告や何気ない会話をすることで意見や要望などを聞いている。苦情相談の窓口や担当者、外部機関を明示し、苦情処理の手続きを明確にしている。	
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティングなどで上がった意見や提案は事務長、代表者へあげるようにしています。	日頃から職員からの意見を聞く機会を設け、月1回のミーティングや3か月毎の全体ミーティングで出た意見や提案は、法人が月1回開催する運営会議で提案している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回、複数名による査定を行い、賞与等給与にその結果を反映させています。また、平成21年10月より、介護職員処遇改善交付金を受給し、介護職員の賃金水準の改善を図っています。職員が段階的にキャリアアップを図れるよう、キャリアアップシステムの構築を行っています。		
14	(9)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月、認知症に関する勉強会を実施し及び法人内外の研修参加について、全面的に支援しております。また、年1回、法人内学術大会を開催し、日頃の取り組みの成果を発表することで更なるサービスの質の向上に繋がっています。	外部研修は、職員の経験や段階に応じて勤務の一環として受講の機会を提供し、復命報告して全職員が共有できるようにしている。法人研修の他、毎月の内部研修では実践的なケアの方法を職員同士で学びあっている。資格取得への支援もある。	
15		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に参加し、他のグループホーム職員と情報交換を行っています。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
16		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居時にアセスメントをとり、利用者の嗜好、要望をお聞きし、不安を取り除き、スタッフの関わりに統一感、共通意識をもって信頼関係の構築に努めています。		
17		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居時にアセスメントをする際は、ご家族にもお話を聞き不安なく利用できるように取り組んでいます。		
18		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	各事業所とも連携し、本人にとってまず、どのような支援が必要か見極めたうえで入居の検討をしています。		
19		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として学び、お互いがさりげなく助け合って家事を行い、生活しています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	ご家族との絆が必要不可欠であることを入居 時に説明し、できる限りグループホームへ足 を運んでいただいたり、受診の付き添いなど 協力していただいております。		
21	(10)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族とも話をしたうえで、馴染みの面会者 に会っていただいたり、長年なじんだ場所に いけるようにしています。	親戚や友人、知人、近所の人との訪問がある。 手紙やはがきの交換、電話の取次ぎ、ドライ ブ（神社や公園、自宅周辺等）、馴染みの理 美容院の利用、家族の協力を得て正月の外 泊や法事、旅行、外食に出かけるなど、馴染 みの人や場所との関係が途切れないよう支援 している。	
22		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せ ずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	利用者同士の関係を把握したうえで食事の 席の検討など行っている。利用者が孤立さ れないように職員も必要時入るなどして対応 しています。		
23		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約が終了してもその後の関わりを大切に して相談に乗ったり気軽にお願いいただける 様に配慮しています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
24	(11)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	日々の生活での行動や会話から本人が何を 希望しているのか把握しひとりひとりのその 時の思いを大切に柔軟な支援に努めて います。困難な場合は本人の立場に立った 支援に努めています。	センター方式を活用して、家族からの情報や 生活歴の把握に努める他、日常のケアの中 で本人の話した言葉などを生活記録に記録 し思いや意向の把握に努めている。困難な場 合は、日頃から寄り添うケアに努め、本人の 表情やしぐさから把握し、本人本位に検討し ている。	
25		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環 境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努 めている	センター方式など活用し事前に利用者や家 族、以前のサービス事業所から情報収集を 集めサービス経過時の把握に努めていま す。		
26		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	入居時のアセスメントで生活歴などを把握し ご家族からも情報提供を頂いています。 日々の身体、精神状態の把握に努め、ス タッフ間で情報交換を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	センター方式を用いて本人がよりよく暮らすための課題をチームで話し合い介護計画を作成しています。	計画作成担当者、利用者の担当職員を中心に、ケアカンファレンスを毎月1回開催し、家族の要望、主治医の意見等を参考にして、介護計画を作成している。6カ月毎に見直しを行い、変化が生じた場合にはその都度計画を見直している。	
28		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個々の生活状態、行動は記録に細かく記録し、スタッフは毎日生活パターンを把握しながら支援しています。		
29		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族の状況や本人の身体状況によっては受診に付き添ったり、外出支援を行ったりしています。		
30		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ボランティアの受け入れ、消防関係の訓練時などに相談助言をいただいております。		
31	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人と家族の要望に基づきかかりつけ医と事業所が連携を取りながら適切な医療が受けられるようにしています。	事業所の協力医療機関の他、利用者や家族が希望する医療機関がかかりつけ医となり、家族の協力を得ながら、受診の支援をしている。受診後は互いに情報を伝達、共有し、適切な医療が受けられるよう支援している。	
32		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	定期訪問の際、情報や気づきを報告、相談したり緊急時の際の連絡相談や勉強会を行っています。		
33		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院した際には医療機関との交換を密に行い、家族とも相談し、本人がグループホームの生活に戻れるように支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34	(14)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ご家族の意向に添える様、かかりつけ医や医療訪問看護と話し合い、方針を共有しています。	看取りに関する指針があり、契約時に事業所ができる対応について家族に説明している。実際に重度化した場合には、利用者や家族、かかりつけ医、訪問看護師等と話し合い、方針を全員で共有して、支援に取り組んでいる。	
35	(15)	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	事故があった場合は必ず事故報告書を作成し会議などでも取り上げ事故防止に取り組んでいます。又、勉強会を行い応急手当ができる様取り組んでいます。	事故報告書、ヒヤリハット報告書に記録し、毎月のリスクマネジメント委員会で防止策を話し合い、検討している。ケアプランに反映し、利用者一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。消防署の協力を得て救急救命の研修や応急手当は看護師からの指導を受けているが、全職員を対象とした応急手当や初期対応の定期的な訓練の実施までには至っていない。	・全職員を対象とした応急手当や初期対応の定期的な訓練の実施
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に避難訓練を行い避難場所の確認や避難方法を職員が把握しています。又運営推進会議等に地域の方々や災害時に協力していただける様に働きかけています。	マニュアルがあり、年2回、夜間想定を含めた避難訓練や通報訓練、消火訓練等を実施している。運営推進会議で議題として取り上げ、自治会への協力を依頼しているが、地域との協力体制の構築までには至っていない。	・地域との協力体制の構築
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	家庭的な雰囲気の中でも入居の皆様に対し尊厳持った言葉かけを心がけています。接遇トレーニングを毎日行いお客様の満足度の向上に取り組んでいます。	毎朝、接遇トレーニングを実施し、利用者の自尊心を傷つけず、プライバシーを損ねない言葉かけや対応ができるように取り組んでいる。入浴時や排泄時での対応には細心の注意を払っている。	
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	入居の皆様の意見や気持ちを大事にし、本人の意思を第一に優先しながらできること、やりたいことを見つけ、家事や趣味活動を行っています。		
39		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを尊重し、声かけ、傾聴を行っています。入浴時間や就寝時間などを希望に添えるように支援しています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お化粧を楽しむ時間を設けたり、外出の際に個々の趣味にそった身だしなみで外出しています。又、御本人、ご家族の希望の下、理美容院を利用しています。		
41	(18)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	盛り付けを手伝っていただいたり、食事をつくる楽しさを共有して楽しく食事を行っています。旬の食材に触れる時間や話題提供を行い食に関する興味を持って頂いています。個々の力を把握し、後片付けまで一人ひとりが食事を楽しめる様取り組んでいます。	三食とも事業所で食事づくりをしている。利用者は、調理の下ごしらえや盛り付け、台拭き、お茶入れ、配膳、下膳、片付けなどできることを職員と一緒にしている。誕生日に外食で好きなメニューを頼んだり、季節ごとの行事食、おやつ作り(ホットケーキ、ドラ焼き等)など、食事づくりの楽しみや食べることの楽しみを工夫して支援している。	
42		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養のバランスを考えながら献立表を作成しています。一人ひとりの必要な量を把握できるよう食事量、水分量のチェックを行っています。好みの飲物を選んでいただけるよう準備し、提供しています。食べやすい容器や食形態、声かけなども個々に合わせて支援しています。		
43		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	一人ひとりの力に応じた口腔ケアを行っています。義歯の洗浄、保管方法については、義歯洗浄剤を使用し、実施日や保管方法を取り決めています。		
44	(19)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄のチェックを記事などで行い、個々の排泄パターンを把握し気持ちよく排泄できるように努めています。	排泄表を活用し、利用者一人ひとりのパターンを把握して、声かけや誘導をして、排泄の自立に向けた支援をしている。	
45		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分量を多めに摂っていただいたり、運動に誘うなどして便秘対策に取り組んでいます。ご家族、訪問看護や医療機関とも相談して必要な方は緩下剤で調整を行っています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46	(20)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日お風呂を沸かしています。体調や希望などに添って入浴をゆっくり楽しめる様支援しています。	入浴は毎日可能で、13時半から17時半まで本人の希望に沿った時間に、一人ひとりゆっくりと入浴できるよう支援している。利用者の状態によりシャワー浴や清拭、足浴などの対応をしている。入浴したくない場合には、無理強いをすることなく時間をずらしたり、声かけの工夫をしている。入浴剤やゆず湯などの工夫もしている。	
47		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	不安なく落ち着いて眠れるように不眠時には付き添ったり、温かい飲み物を提供するなどして支援しています。室温や照明などにも配慮しています。		
48		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	スタッフ一人ひとりが内服の管理に関わり、目的、用法、用量について理解できるように取り組んでいます。状況によってはご家族や医療機関に相談し服薬支援を行っています。		
49	(21)	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事等を通してひとり一人が得意な事を活かせる場面づくりを行っています。朝の集い等で今日の出来事や話題を提供し、メリハリのある一日を過ごしていただけるように心がけています。	ラジオ体操、風船バレー、貼り絵、縫い物、雑巾作り、活け花、将棋、カルタ、すごろく、トランプ遊び、食事作り、掃除、洗濯物干しや洗濯物たたみ、ゴミ捨て、テレビ鑑賞、新聞読みなど、一人ひとりのしたいこと、好きなことをみつけ、日々の生活の張り合いとなるような場面作りを行っている。	
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	誕生日会や花見など希望に添った外出支援に努めています。又、散歩、買い物、ゴミ捨てなど支援しています。	近隣への朝の散歩や日用品などの買い物、季節毎の花見(桜、ツツジ、紫陽花、バラ、コスモス等)、近郊へのドライブ、外食など戸外に出かけられるように支援している。	
51		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の希望やご家族との相談を通じて一人ひとりの能力に応じた金銭管理を行っています。お預り金については、金銭の取り扱いの手順に基づいた出納管理の支援を行っています。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族に自ら電話をしたり、手紙のやりとりを支援することで一人ひとりの安心につながっています。		
53	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭にあった馴染みのある物を持ってきていただき利用者が心地よく過ごせる部屋づくりをしています。衣類などに利用者が分かりやすいように名前を書くなど工夫し、職員と一緒に整理整頓など行っています。	モダンな和風造りの自然の光を採り入れた落ち着いた雰囲気のあるリビングには、季節の活け花や観葉植物を置き、壁には月毎に変わる手作りの貼り絵や行事の写真などが飾っている。テーブルの配置にも配慮し、畳の間もあるなど、利用者が居心地良く過ごせるよう工夫している。換気にも配慮している。	
54		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間は常に解放し、仲の良い方がよく話ができる空間をつくっています。それぞれの時間の過ごし方ができるよう、テーブルの配置などにも配慮しています。		
55	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの品を居室に揃え、自分らしい居室環境の中で心地よい生活を一人一人がおくられています。	使い慣れた寝具類や小ダンス、テレビ、机、椅子、書籍、装飾小物を持ち込み、壁面の飾りや家族写真、季節の花などを飾り、利用者のその人らしい居室づくりを工夫している。室内は整理整頓しており、安全に過ごせるよう配慮している。	
56		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	ひとり一人の利用者の理解力や慣れ親しんだ生活に配慮しながら自室の環境を整えたり、混乱や失敗を招く要因がないかを点検し、トイレやエレベーターなどの案内や表札の設置を行っています。		

2. 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム 和らぎ・歎び

作成日： 平成24年11月19日

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	職員の入れ替わりが多くあり、当施設本来のグループホームのケアが薄れつつある。	本来あるべき入居者主体のグループホームをめざし、職員間のケアの意識統一を行う。	・新人職員への指導、リーダーが新人職員が困っていること、不安な事などを聞き、助言を行う。 ・全体ミーティングでBS法などを用いて全職員の認知症ケアの在り方を問い、一人ひとりの意見を理解しながら、同じ方向で認知症ケアが行える様、話し合いを行う。	6か月
2					
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。